

**製品名: セレベリン 3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08681**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	27kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CBLN3
別名	CBLN3; Cerebellin-3
遺伝子 ID	643866.0
SwissProt ID	Q6UW01
免疫原	抗血清はヒト CBLN3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

**背景**

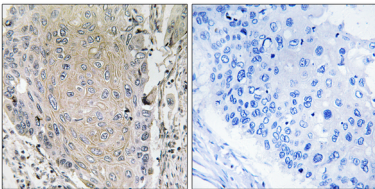
CBLN3 などのプレセレベリンファミリーのメンバーは、セレベリンモチーフ（CBLN1 を参照; MIM 600432）と、非定型コラーゲン複合体の三量体形成を媒介する C 末端 C1q シグネチャードメイン（MIM 120550 を参照）を含む。しかし、プレセレベリンはコラー

ゲンモチーフを含まないため、細胞外マトリックスの従来の構成要素ではないことが示唆されている (Pang et al., 2000 [PubMed 10964938])。[OMIM 提供、2009年8月],機能: 中枢神経系のシナプス機能に関与している可能性がある。、類似性: 1つのC1qドメインを含む。、細胞内局在: 分泌はおそらく CBLN1 またはおそらく CBLN4 との結合に依存し、CBLN2 には依存しない。、サブユニット: ヘテロヘキサマー; ジスルフィド結合ヘテロ三量体。ホモオリゴマー化はしないが、少なくとも CBLN1 と複合体を形成すると考えられる。CBLN2 および CBLN4 と相互作用する可能性がある。

## 研究分野

-

## 画像データ



CBLN3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。